

2019年度・第68回 北海道・東北ブロック保育研究大会 開催要綱

～すべての人が

子どもと子育てに関わりをもつ社会の実現をめざして～

1 趣 旨

今後の急速な少子化を見据え、子育て世帯を応援し、社会保障を全世代型へ抜本的に変えるため、幼児教育の無償化が本年10月1日から実施され、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性や、幼児教育の負担軽減を図る少子化対策の観点として取り組まれます。

しかしながら、幼児教育・保育の無償化は、保護者の負担軽減が図られる一方で、潜在的な保育ニーズが拡大されることも予想されるため、受け皿となる保育園等では、保育士不足が深刻度を増すなど、都市部での待機児童の問題、人口減少地域での保育の維持・確保、児童虐待や子どもの貧困など、子どもを取り巻く状況も深刻化しております。

「すべての子ども・子育て家庭を対象に、幼児期の学校教育・保育、地域の子ども・子育て支援の質・量の拡充を図る」とする「子ども・子育て支援新制度」の趣旨に基づき、保育所・認定こども園等は、保育士等の専門性の向上及び保育の質の確保を図り、養護と教育の実践のもとに、これまで培ってきた保育の営みの大切さを、いま一度広く社会にアピールする必要があります。

このような保育を取り巻く社会情勢をふまえ、これからの保育所等の社会的な使命と役割、実践などについて研究を深めていくとともに、保育研究の場、研究成果を共有しあい今後の保育所等の役割と取り組みについて研究することを目的に開催します。

2 主 催 北海道・東北ブロック保育協議会／北海道保育協議会

3 共 催 社会福祉法人北海道社会福祉協議会

4 後 援 厚生労働省／北海道／札幌市／社会福祉法人全国社会福祉協議会／
全国保育協議会／全国保育士会

5 期 日 2019年7月11日（木）～7月12日（金）

6 会 場 京王プラザホテル札幌（札幌市中央区北5条西7丁目2-1）

7 参加対象 北海道・東北ブロック各道県・指定都市保育関係者
(保育所職員／保育所を運営する法人等の役職員／行政及び社会福祉協議会職員等)

8 日 程

	12:00	13:00	13:30		16:20	18:00	20:00
7/11 (木)		受付	開会式	行政説明 ・情勢報告	休憩	交流会	

	9:00	13:00	14:00	15:30	16:00
7/12 (金)	分科会：研究発表		昼食休憩	記念講演	閉会

【7月11日（木）】

- 12:00～13:00 受 付
13:00～16:20 開 会 式（来賓挨拶）
行政説明：厚生労働省
情勢報告：全国保育協議会
16:30～17:45 分科会打合せ
18:00～20:00 交 流 会

【7月12日（金）】

- 09:00～13:00 分 科 会：研究発表
13:00～14:00 昼食・休憩
14:00～15:30 記 念 講 演「ともに生きる、ともにそだつ」

講師 坂東 元 氏【旭川市 旭山動物園 園長】



1961年、北海道旭川市生まれ。酪農学園大学獣医学部獣医学科卒業後、1986年に獣医として旭山動物園に入園。飼育展示係長、副園長を経て、2009年より園長に就任。動物本来の能力や習性を生かした『行動展示』等を考案した。
著書に『旭山動物園へようこそ！』（二見書房）、『動物と向きあって生きる』（角川学芸出版）、『夢の動物園』（角川学芸出版）、『ヒトと生き物 ひとつながりのいのち 旭山動物園からのメッセージ』（天理教道友社）等がある。

- 15:40～16:00 閉 会 式

- 9 分科会 全国保育協議会の全国共通テーマに基づいて、分科会を構成します。下記の8分科会に分けられ、それぞれのテーマに沿って、意見発表を行い、それを中心に研究討議を行います。

カテゴリー1「子どもの育ちを保障する」

保育所・認定こども園等の大きな役割は、子ども自身が自ら持っている発達する力を活かし、側面的に支援することをおして、その子どもの発達を保障することにあります。子どもの発達支援を中心に据えた保育を展開するために、質の高い保育について研究を深め、また、その保育を実践する人材の育成、研修の充実に取り組みます。

- 第1分科会テーマ「新たな時代の保育実践～すべての子どもにむけて～」
- 第2分科会テーマ「配慮を必要とする子どもや家庭への支援にむけて」
- 第3分科会テーマ「保育者の資質向上を図る」

カテゴリー2「子育てライフを支援する」

子どもが心身ともに豊かに成長するためには、子どもと家庭を一体的に捉えて、その家庭を支援することが必要です。保育所・認定こども園等は、多様化する働き方と子育て家庭のニーズに応えるための機能を充実し、子育て支援の拠点として、すべての子育て家庭を対象とした支援を展開します。

- 第4分科会テーマ「地域の子育て家庭への支援の充実にむけて」

カテゴリー3「多様な連携と協働をつくる」

子育て不安や児童虐待への対応など、子どもと子育て家庭への支援は、地域社会を盤として多面的に取り組みを充実していくこと大切です。保育所・認定こども園等は、さまざまな機関・組織・団体や住民が連携・協働して地域の保育機能を高めるための中心的存在として、役割を果たします。

○第5分科会テーマ「子どものより良い育ちに向けた関係機関とのネットワーク」

カテゴリー4「子育て文化を育む」

子どもを対象とした犯罪や虐待の増加など、子どもたちをめぐる深刻な課題が増えています。次世代を創造する子どもをかけがえのない存在として愛しみ、価値を認め、子どもや子育てに多くの人に関心を持ち、私たちの未来を創造していく子どもたちを社会全体で育てていく子育て文化を、保育所・認定こども園等が拠点となって地域社会に発信していきます。

○第6分科会テーマ「食を営む力」の基礎を培う食育の推進」

○第7分科会テーマ「保育の社会化にむけて～保育の営みをいかに社会に発信するか」

カテゴリー5「子育て・子育てを支援する仕組みをつくる」

わが国の家族関係の給付のGDPに占める割合は諸外国のなかでも大変低い水準です。

こうした環境を改善するとともに、日本の未来の社会を担う子どもを中心に、子どもたちが豊かに育つ環境を社会全体が支えていく仕組みについて研究・提言します。

○第8分科会テーマ「公立保育所・公立認定こども園等の使命と地域社会での役割」

10 研究発表の原稿提出等について

- (1) 分科会での発表時間は質疑応答と助言者からの助言等を含めて1人30分程度です。
- (2) レジューメ等の研究発表原稿の作成にあたっては、発表項目ごとに柱立てを行い、原稿はパソコンで作成するものとし、様式サイズはA4、文字サイズは10.5ポイントとし、10ページ以内でまとめてください。(その他資料は、提出されても資料に編纂することは出来ません。別資料を用意しなければならない場合、発表者本人で必要部数をご用意いただきます。)
- (3) 発表者は、別に定める期日まで各道県組織あて研究発表資料を提出してください。各道県組織は、発表資料を取りまとめ、6月21日(金)までに下記の北海道保育協議会事務局あてに送付してください。
- (4) ノートパソコンは、各自での持込となります。プロジェクターとの接続ケーブルにつきまして、機種によりパソコンと接続できない等の不都合が生じる場合もありますので、各自で準備ください。
- (5) スクリーン、プロジェクターは、事務局で用意します。なお、音声を含む映像を使用する場合は、スピーカー等を各自でご用意ください。
- (6) 発表原稿をパソコンで作成した場合、印刷されたものと(プリントイメージの確認のため)データ(USBメモリ、Eメール)でお送りください。(フロッピーは不可)

11 参加申し込みについて

(1) 参加及び宿泊費の経費(税込み)

- ◇参加費 10,000円
- ◇昼食代(お茶付き) 1,500円
- ◇交流会費 7,000円

※宿泊費については別添「参加・宿泊等のご案内」をご参照ください。

(2) 参加申込み方法等

詳細は、別添「参加・宿泊等のご案内」を参照ください。

「Web」からの申込み又は「参加申込書」に必要事項をご記入の上、5月31日(金)までに、名鉄観光サービス株式会社札幌支店にお申し込みください。

【申し込み先】

名鉄観光サービス株式会社札幌支店（担当：白崎）

〒060-0003

札幌市中央区北3条西3丁目 NREG 北三条ビル7F

T E L : 0 1 1 - 2 4 1 - 4 9 8 6

F A X : 0 1 1 - 2 4 1 - 0 1 5 4

E-mail : hoiku68-sapporo2019@mwt.co.jp

(3) 個人情報の取り扱いについて

参加申込書に記載された個人情報は、本大会の運営及び資料の作成に使用します。

上記以外の目的で本人の了承無く個人情報を第三者に開示することはいたしません。

12 問い合わせ先

【大会内容に関すること】

社会福祉法人北海道社会福祉協議会 施設支援部 施設福祉課

北海道保育協議会 事務局（担当：菊地・鍋島）

〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目1番地 かでる 2.7 3階

T E L : 0 1 1 - 2 4 1 - 3 7 6 6

F A X : 0 1 1 - 2 8 0 - 3 1 6 2